

# HSG ローカルルール

2019.4.1  
エチケット委員会  
競技委員会

## ◆ 1. 行動規範

1. プレーのペース : プレーヤーは、前の組と20分以上の遅れ\*を生じないように努力するべきである。

\* 20分以上の遅れ : ロングホールで前組がホールアウトする前にティーショットを始められない程度の遅れ。

( ' 19/3 制定)

2. スタート後は、昼食時間帯を除き、ホールとホールの間での練習打ちを禁止する。

( ' 19/3 制定)

3. 罰打記載の無いルールに違反した場合は、2罰打付加してそのままプレーを進める。

( ' 19/3 制定)

## ◆ 2. バンカーとパッティンググリーン

1. バンカー内の石は、安全のため動かせる障害物として取り除くことができる。このとき球が動いた場合は、罰なしに元の所にリプレースしなければならない。

( ' 19/3 改定)

2. グリーン上においてはパター以外のクラブは使用を禁止する。

( ' 17/1 制定)

3. ショートホールでニアピンの旗が後続組のティーショットの障害になる場合は、ホールを中心にした同心円上の横に移動することができる。(罰はなし)

( ' 09/2 制定)

4. ショートホール等において、競技者が競技進行上優位と判断した場合、後続組にストロークさせることができる(コールオン方式、罰はなし)。

( ' 15/1 制定、' 17/1 改定、' 19/3 改定)

5. コールオン方式でプレーする際、グリーン上において、後続組のプレーヤー(A)の打った球が、先行組プレーヤーのプレーの障害になる場合は、先行組はその球をマークして拾い上げ、プレーした後にその球をリプレースする。その後、(A)は、グリーン上の自球を罰なしに、そのままプレーすることができる。( ' 09/2 制定、' 17/1 改定)

## ◆ 3. 罰なしの救済

1. チャンピオン戦を除いて、ジェネラルエリアでは、ホールに近付かず6インチ以内にプレースをすることができる。

( ' 19/3 制定)

2. 土の付いた球は、マークして拾い上げ拭いてリプレースすることができる。

( ' 19/3 制定)

### 3. 異常なインペディメント状態の救済

ジェネラルエリアおよびバンカー内において、強風などで異常に散乱した木の枝や松毬等が球に接していて、それを取り除く時に球が動いた場合は、罰なしに球をリプレースしなければならない。

( ' 17/1 明確化)

4. 地面のひび割れやバンカー内の亀裂(豪雨で砂が流された跡など)は、異常なコース状態と認め、救済\*\*を受けることができる。

( ' 17/1 制定)

5. グリーンから2クラブレンジス以内で、球から2クラブレンジス以内にある散水栓他異常なコース状態がプレーの線上にある場合は、ホールに近づく1クラブレンジス以内にプレースすることができる。

( ' 19/3 制定)

6. ジェネラルエリアに露出している木の根がプレーの障害になる場合は修理地として扱い、救済\*\*を受けることができる。しかし、スタンスだけの障害ではプレーの障害としない。

( ' 19/3 制定)

7. ジェネラルエリアで、猪や鹿など動物によって損傷している区域は修理地として扱い、救済\*\*を受けることができる。しかし、スタンスだけの障害ではプレーの障害としない。

( ' 19/3 制定)

8. ジェネラルエリアにある刈り芝や落ち葉の堆積は修理地とし、救済\*\*を受けることができる。

( ' 19/3 制定)

9. コース内の樹木の支柱・支線は動かさない障害物であり、救済\*\*を受けることができる。

\*\* 救済 : 罰なしに、ニアレストポイントから1クラブレンジス以内にドロップできる

◆ 4. 罰有りの救済

1. 球が黄杭(縞杭)を越えた時は、1罰打付加して黄杭(縞杭)を結ぶ線を横切った地点から、プレーするフェアウェイ側にホールに近付かず、2クラブレンジス以内にドロップしてストロークすること。(’08/4 明確化、’19/3 改定)
2. 特設ティーがあるホールにおいて、ティーショットでアウトオブバウンズまたは紛失球を発生させた場合は、第4打を特設ティーから打つことができる。(’17/4 改定、’18/9 修正)
3. OB 球または紛失球に対して、2打付加して、OB 球の位置または紛失したと思われる位置から、ホールに近付かないコース内にプレースして打つことができる。OB 球・紛失球の位置は、同伴競技者と合意した位置とする。(’18/9 制定)
4. 球がレッドペナルティーエリアの池に入った場合、1打付加してレッドペナルティーエリアの縁を最後に横切った地点の対岸の地点から2クラブレンジス以内にドロップして打つことができる。(’19/3 制定)

◆ 5. その他

1. 最大スコアはパーの3倍とし、ギブアップ宣言によりそのホールを終了することができる。(’19/3 制定)

以上

来歴

年月日	制定	改定	その他	備考(理由他)
2017.4.1	・バンカー内も異常なグラウンド状態の救済範囲とした。	・特設ティーのあるホールは前進4打可とした。 ・ローカルルール違反の罰打を明確にした。	・ローカルルールを通し番号表記にした。	・2017 年度規約改定により、規則の管理はエチケット委員会となり、全面的に見直し整理した。
2017.7.1	・No.6 フェアウェイのディボット跡の球は6インチ移動可。			・大みかコースも含めて、ビジターが多く、埋め戻し・砂入れが少なく荒れがひどいため。
2018.9.1	・No.17 OB 球または紛失球は、+2打で近くのフェアウェイから打つことができる。		・No.5の OB および紛失球を、OB または紛失球に修正した。	・来歴欄作成 ・打球の近くに行つて OB と判り戻つて打つのが体力的にも時間的にも大変なため。2019 年新規則でも推奨されている事項先取り。 ・No.5; 誤字修正
2019.3.1	・新規則で推奨されるローカルルール76件のうちから選択して制定した。 ・プレーファーストとして、ジェネラルエリア6インチプレース可とした。	・大みかコース特有の事項で、大みかコースのローカルルールと重複するものは削除した。 ・ローカルルール違反の罰則を定め、項目毎の罰則記載をなくした。 ・黄杭を越えた球→球が越えた時 ・コールオンはどのホールでも実施して良いこととした。 ・設定を制定、年号を西暦に統一	・項目が多くなり、見やすさとメンテを考慮して、表記法を分類方式とした。	・2019JGA新規則を受けて全面的な改定を行った。 ・黄杭を越えた球は確認を要さないこととした。取りに行かなくても良い。